

定例公安委員会の開催状況について

令和5年7月13日に、第20回定例山形県公安委員会が開催されました。議事の概要は次のとおりでした。

1 交通規制の解除について

交通規制の解除について、審議を行い、意思決定した。

委員のコメント

○ 必要に応じた信号機の撤去、新設を進めてほしい。

2 8月の行事予定

8月の行事予定について報告があった。

3 110番映像通報システムの運用状況について

110番映像通報システムの運用状況について報告があった。

委員のコメント

○ 的確な初動対応につながる大変有用なシステムだと思う。今後も捜査や災害警備等に活用してほしい。

○ 警察のDX（デジタルトランスフォーメーション）化を具体化したものと感じた。活用件数を増やしていくことが今後の課題となる。映像通報が有効なケースをオペレーションするなど更に利用件数が増えるように工夫を凝らしてほしい。

○ 災害警備等にも生かせる効果的なシステムである。是非、システムを周知して活用してほしい。

4 令和5年上半期 刑法犯の認知・検挙状況（暫定値）について

令和5年上半期刑法犯の認知・検挙状況（暫定値）について報告があった。

委員のコメント

○ 上半期の検挙率が全国1位であることを評価する。捜査力が低下しないように日頃から訓練を行っておくことが必要である。

○ 認知件数が増えた要因として、近年の物価上昇、エネルギー価格の高騰、収入増が見込めないことなどが背景にあるとすれば、今後もこの傾向が強くなる可能性があるため、注意をしなければならない。認知件数が増加している犯罪を分類化して対策を講じることが必要だと思う。

○ 人流の回復によって自転車盗などの窃盗犯罪が増えていくことが懸念されるので、防犯教室等で広報啓発してほしい。若手育成に関しては、大きな事件をシミュレーションしての教養を行ったり、他県との人事交流など各種対策をとることで、今後も継続した治安維持を図ってほしい。

5 令和5年度白バイ訓練会の実施について

本年6月30日、天童市内で実施した令和5年度白バイ訓練会について報告があった。

委員のコメント

- 受傷事故防止のためにも、引き続き白バイの運転技術向上を図ってほしい。
- 技術の向上は大切である。交通安全意識が浸透するような広報活動により、県民に広くPRしてほしい。
- 複数の場所で訓練を行い、広報できる場を増やしてほしい。

6 アンダーパス冠水を想定した救出救助訓練等の実施（予定）について

アンダーパス冠水を想定した救出救助訓練等の実施（予定）について報告があった。

委員のコメント

- アンダーパスは、車だけでなく歩行者も進入する場合がある。時宜を得た訓練だと思うので是非成果を上げてほしい。
- 救出救助訓練はもちろん大事であるが、事前に気象情報を把握して、冠水などの危険がある場所をどれだけ適切に交通規制を行うかが重要である。冠水前に交通規制を行う訓練も実施してはどうか。
- 冠水した道路の危険性を認識することが必要である。車はどの程度で動かなくなるか、ドアが開かなくなるかといった情報を認識できる訓練をして、その結果を県民に向け周知してほしい。